

2026年1月15日
四国電力株式会社

クルーズ船「飛鳥Ⅲ」へのLNG燃料供給を実施 ～四国の低炭素化を推進し、持続可能な社会の実現へ～

当社は、「地球への想い、地域と共に」を環境保全活動のスローガンとして掲げ、LNG（液化天然ガス）をはじめとするクリーンエネルギーの普及を推進するなど、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めております。

こうした中、本日（1月15日）、高松港に入港した郵船クルーズ株式会社のクルーズ船「飛鳥Ⅲ^{※1}」に対して、Truck to Ship方式^{※2}により、約54t（ローリー車4台分）のLNG燃料を供給（以下：LNGバンカリング^{※3}）いたしましたので、お知らせします。

なお、クルーズ船へのLNGバンカリングは、四国初の取り組みとなります。

当社といたしましては、今回得られた知見やノウハウをもとに、更なるLNGバンカリング事業の積極的な展開を通じて、引き続きクリーンエネルギーの普及を推進してまいります。

※1：重油・軽油・液化天然ガス（LNG）の3種類の燃料に対応するトリフルーエルエンジンを搭載した次世代クルーズ船。

※2：LNGローリー車からフレキシブルホースを使って船舶へ直接燃料供給する方式。

※3：船舶にLNG燃料を補給すること。

（参考）「飛鳥Ⅲ」へのLNG供給の様子



以上